

延刊である。

**本** 来ならば十日・二十五日に出すつもりが、三号にして「アタリ」であるが、三号にしてすでに延刊である。なにしろ独りでやっておるし、もうこの辺は諦めるしかあるまいと思っておる。もし待っておる人があったとしてもこのご時世だ。ツイッターなどでどうせ書き手の動向など一目瞭然であるからして、今更どうこう出来るものでもないのだった。動向だけに!

**さ** ういった事情も鑑みたとでサンタクローズの話とかしてしまおう。好きにしてよオジチャン!

サンタは存在する。

**い** いぢやねへか三択ローズのひとりやふたり。一番・豚のローズ、二番・牛のロ

ース、三番・コロムビア・ロースつて古いねどうも。

**何**、古くない?

四年に三代目が

デビュウシ

たア?

チーと

も識らな

かった。で、

それはももクロ

では何色演つてんのオ……と

くる。何KBに

とくる。弊社の携

百KB以上の画像データが受信されぬ。ももクロは今年

えた。数少ない今年の収穫である。ワニとシャンプー!

ある。ワニとシャンプー!



↑数々のクリスマスを経て最高に強まった七面鳥であるが義理と人情には弱い。「はじめてのおつかい」に弱くバットで殴れば死ぬしオープンでこんがり焼ける。やっばり喰われる



みて、ラテン語読みでニコラス、聖ニコラウスをオランダ語読みするとシントクラウス、十四世紀頃から聖クラウス祭があつて、十七世紀に彼らがアメリカに入植した時に一緒に持ち込んで「サンタクローズ」となった。キキペチア、お茶も出さないのによく教えてくれる。角砂糖でも食わせたほうがいいかしらん。なると、ですよ。となる

**と** とダック。サンタいるぢやん、ということになる。だったらあれよ。昔やア「せんとにこらうす」というおぢさんがいてね、貧乏な子どもに施しをしておつただけで、いつしか子どもになんか呉れようということになった。我々はそのサンタクローズの意志を継いでプレゼントを呉れてやろう、でいいぢやねえですか。サンタはいる、いないぢやなくて「いた」でいいぢやない。幼稚園児にや難しいとは思いません。金太郎だつて後に坂田公時になるんだし。牛若丸も義経にしておけだし。

べう式「アタリ」は、  
書肆べうの発行する冗句と与太話のフリーペーパーです。出来れば各自でPDFをダウンロードし、プリンターなどを駆使してお楽しみください。A4版です。  
御連絡はbanric@gmail.com (ながしろ) まで。  
Website: <http://sbew.web.fc2.com/atari/>

**● 賣特大品珍 ●**  
▼ 男子専用珍具大安齋 !!  
高級  
特典 (生地の厚みと縫製にこだわった高級品) 取り寄せは送料別  
● 買元 大塚山崎製菓  
清交社

**クツサ**  
肉 一打 金五十  
衣 二打 九十五  
六打 二百五十

三平野水  
フサイダイ  
矢ラレンジ  
シナルコ

**お父さんお父さん**  
魔王が来るよ  
お父さん  
お父さん  
お父さん

● 買元 ねづみ  
● 買元 ねづみ  
● 買元 ねづみ

# 親子丼。

井戸の中に石を投げ入れて「どんぶり」という表意文字だと思わなかったが、それを「ご飯の上になんか掛けたやつ」の名前にするのもよくわからないが、親子丼である。低予算であるので重宝しておる。さらにケチって鶏肉を適当に購入して足りない場合、三〇%引きのちくわを刻んで投入する。するてえともうすでに親子丼ではなく「今日は親子水入らず……とおもったら誰よ！ 誰なのよおちさん！」井となる。美味いかと云われるとちくわが嵩増し要員なのでにとんでもかんとも。

# 姉

ボラとトド井？ 穴兄弟  
——穴子とウツボ？ 棒姉妹  
——インコと金庫……鉄棒と  
うまい棒……ナンダカヨクワ  
カンナイ。

# ち

くわを凍らせたやつが存外にうまいのです。先程の残りの二本くらいを冷凍庫に放り込んでおく。しばらく

してカッチカチになったのんを齧ると、カッチカチとは言いながら所詮きやつらは練り物なのです。結構イケる。じわつと魚が滲みてくる。夏にやったこたないんだよなあ。

# 暑

中見舞いに干支を描こうみたいな運動がごく一瞬だけあったような無かったような。事程左様に十干十二支というのも年賀状と年齢確認だけに使われるものになってしまいましたとき、って、それは比較的昔からかも知れない。昔のように、親族が多かった場合は干支というのは非常に使い勝手が良かった。村山の甲ちゃんとうちの乙ちゃん塩竈の丙さんがおなじ酉年だったわねー、みたいな。そうした人間関係を量る上でのカテゴライズのみならず、それだけで十五分位話がつながるのであった。多少アルツがハイマっても誰が何年だったかというのは案外覚えていたのであった。何の話だ！

# 星

占いに頼らんと、ここ数年は世代交代というか、今まで不動とされたものが動く時期であることにや違いな。なにしろ三鷹の不動債権(※紙面の都合上、呼ばれていたこととした)と呼ばれた弊社が引越すくらいである。そらあ徳州会もあかんくなるう、みのもんたも出て来んくなるう。地震も起きよう。森光子も亡くなるう。森繁は……もつと前か。家元談志は一昨年である。『ザッツ・ア・ブレンティー』読んだ。良い介護ロボだ。

# ど

がちやか、である。天も地もどがちやかどがちやか、結局は「成った先で生きる」となる。そのための「アタリ」である。落ち着くまで「匿れて生きよ」である。とすると、間抜けポンチでもこいう媒体を出して



ちくわしてか  
わけて  
持つねえ

くのである。  
みなさまも生き延びれ。  
良いお年をお迎えください。

# 新刊のおしらせ

・来年、二〇一四年一月にや  
宇田川豪大第4戯曲集『耳栓』  
が(多分)刊行されますが、前回『ばんびー』に引き続き「委ねへの戦慄」というタイトルで解説を書かせていただきました。前回は作品論的なことを長々書きましたので、今回はもつと(分量の都合もあって)ライトです。どっかで見かけたら手に取ってみてやつつください。  
V2ソリューション刊。

# ウェブサイトできました

PDFファイルをサーバに上げようとしたら「お宅のサーバ古すぎルンバ」と中の人に怒られたので、心機一転移転したので突貫で作りました。  
<http://sbew.web.fc2.com/atar/>

容量が続く限りバックナンバーは残しておきますので、ご入り用でしたらお役立てください。



では、今回はここまで。